

fi-590PRF インプリンタ オペレーターガイド

目次

はじめに.....	1
第 1 章 お使いになる前に	4
1.1 インプリンタ外観.....	4
第 2 章 基本的な操作方法	5
2.1 プリントカートリッジの取り付け.....	5
2.2 動作確認.....	6
2.3 印刷位置の合わせ方.....	7
2.4 原稿づまり防止ガイドの使い方.....	8
2.5 印刷設定.....	8
2.6 プリントカートリッジの交換.....	9
第 3 章 日常のお手入れ	11
3.1 プリントカートリッジの清掃.....	11
3.2 インプリンタの清掃.....	11
第 4 章 エラーメッセージ	13
第 5 章 仕様	14
修理・問い合わせについて	16

お願い

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2005

はじめに

このたびは、fi-590PRF をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

fi-590PRF は、fi-5900C イメージスキャナで使用するオプションユニットです。

本ガイドは、インプリンタの使い方について説明しております。本書にしたがって正しくご使用ください。

(fi-5900C 本体の使い方については、fi-5900C に添付されている Setup CD-ROM 内の『fi-5900C イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。)

消耗品の交換方法など大切な情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

本書が fi-590PRF を活用していただくために、皆様のお役に立つことを願っております。

安全にお使いいただくために

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、本書に記載されている『安全上のご注意』は、必ずお読みいただき、内容をよく理解されたうえで本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 (ソリッドスクエア東館)

TEL: 044-540-4538

商標および登録商標について

Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

商標の表記について

本書では、次の用語について省略して記述しています。

Windows 95: Microsoft® Windows® 95 operating system. 日本語版

Windows NT 4.0 Microsoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0 日本語版、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版

Windows 98: Microsoft® Windows® 98 operating system. 日本語版

Windows Me: Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system. 日本語版

Windows 2000: Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system. 日本語版

Windows XP: Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system. 日本語版

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows® と表記しています。

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的な用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

事業系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについてのお願い

この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃却される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引き取りをおこないますので、その際には、

「PFUライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」
(電話0467-70-7290)へお問い合わせをお願いします。

当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) 基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としておりますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準(リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など)をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。

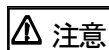
<http://eco.fujitsu.com/jp/>

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に以下の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為(禁止行為)であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアの取扱説明書を参考にして、実際の画面に従って操作してください。

なお、本書に記載している画面は、Windows XP、FUJITSU TWAIN32 スキャナドライバのものです。

メンテナンスについて

当製品の修理はお客様自身でおこなわないでください。製品をお求めになった販売店、あるいはPFU イメージング サービス & サポートセンターに連絡してください。

安全上のご注意



濡れた手で電源ケーブルを触らない。

濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



電源ケーブルを傷つけない。

電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。



指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する。

指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線をしないでください。



電源プラグのほこりは、よく拭き取る。

電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。



油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



異臭がしたら使用しない。

万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。お客様自身による修理は危険です。絶対にやめください。



機器を破損したら電源を切る。

機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。



内部に水や異物を入れない。

開口部(通風口など)から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。



異物(水、金属片、液体など)が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店またはPFU イメージングサービス&サポートセンターに連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



むやみに内部を開かない。
装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。



本装置は日本国内専用です。
本装置は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

注意



装置を不安定なところに置かない。
スキヤナのどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。



装置を不安定な場所に置かないでください。
振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。



電源プラグを確実に差し込む。
電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。



静電気を避ける。
強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。



エアスプレーを使用しない。
清掃などの目的でエアスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光の当たる場所に置かない。
直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください



通気口をふさがない。
通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。



装置の上に重いものを載せない、上に乗らない。
装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。けがの原因となることがあります。



装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く。
ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意しておこなってください。



歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする。
歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。

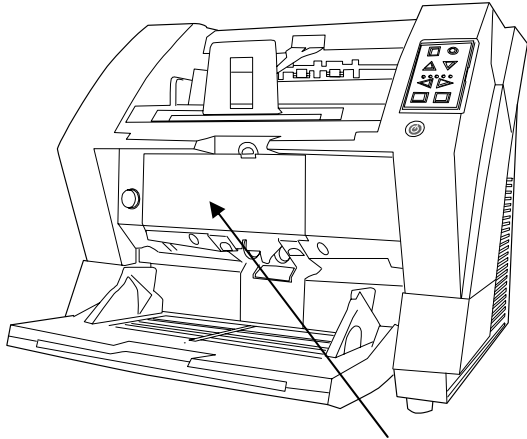


寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない。
寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合がありますので、暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。

第 1 章 お使いになる前に

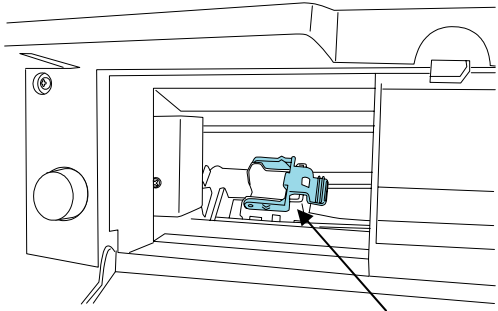
1.1 インプリンタ外観

スキャナ (fi-5900C) のインプリンタカバーを開くと、内部にインプリンタ (fi-590PRF) が搭載されています。

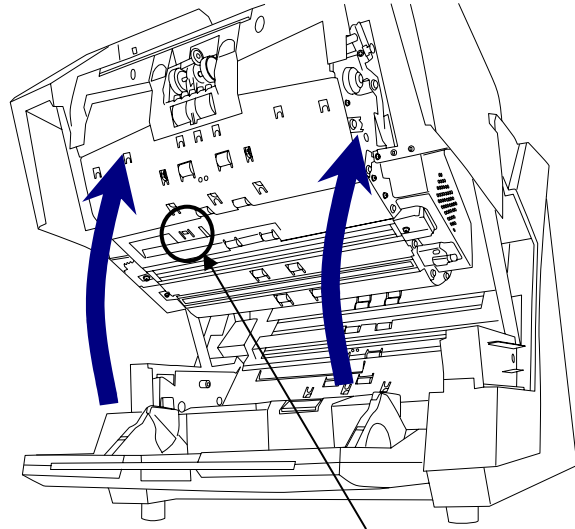


インプリンタカバー

<インプリンタカバー内部>



プリントカートリッジホルダー



インプリンタヘッド

第2章 基本的な操作方法

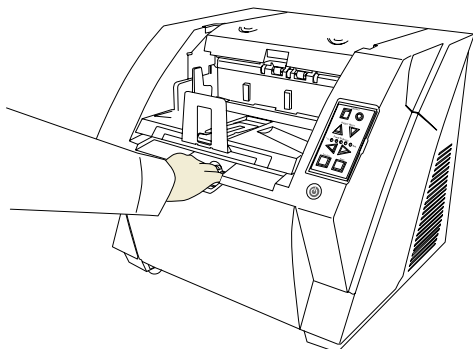
2.1 プリントカートリッジの取り付け

以下の手順でプリントカートリッジを取り付けます。

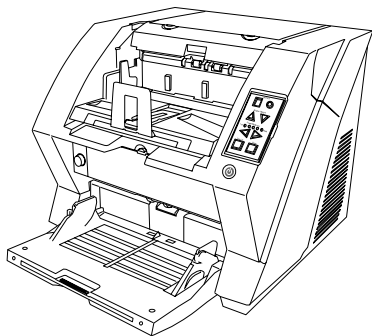
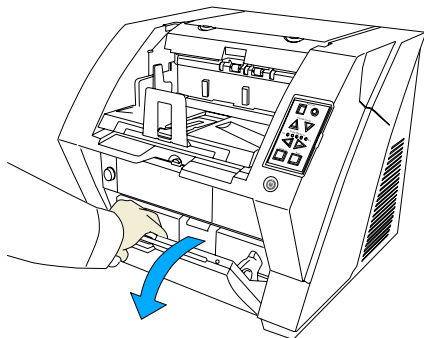


プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

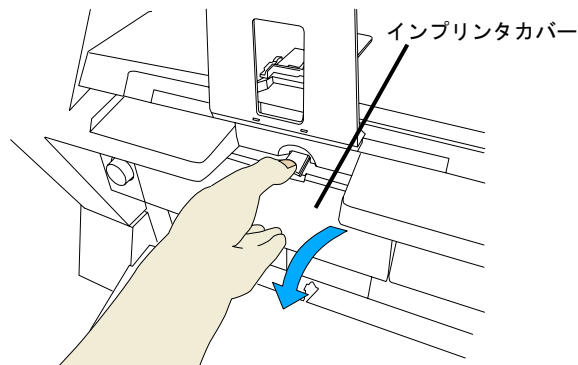
1. スキャナの電源が切れていることを確認します。
2. ホッパー上部中央の青い部分をつかみます。



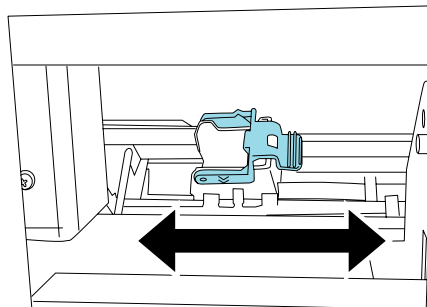
3. 手前に引いて下ろします。



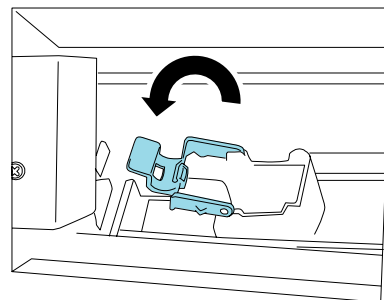
4. インプリンタカバーを開きます。



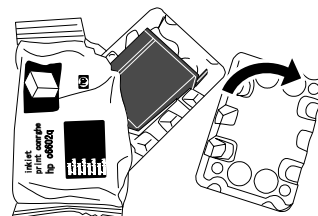
5. プリントカートリッジホルダーを、プリントカートリッジが装着しやすい位置まで移動します。



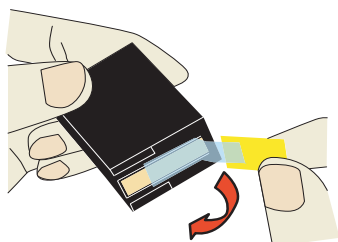
6. 水色のレバーを左方向に回転させて開きます。



7. 袋からプリントカートリッジを取り出します。

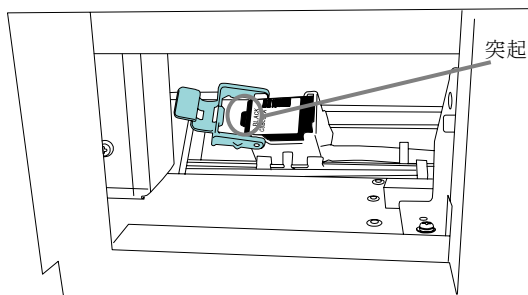


8. プリントカートリッジの保護テープをはがします。

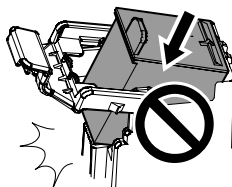


まっぴー! 金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

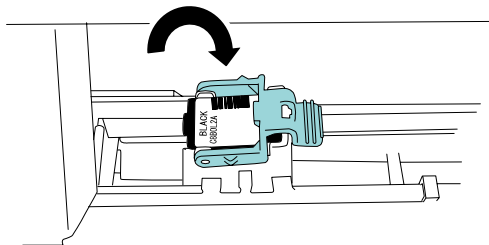
9. レバーが閉じていたら、レバーを左方向に回転させて開いてから、プリントカートリッジを挿入します。



- まっぴー! 手
- プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。
 - プリントカートリッジを傾けると、うまく入りませんので、注意してください。



10. プリントカートリッジの上にレバーを右方向に回転させて固定します。



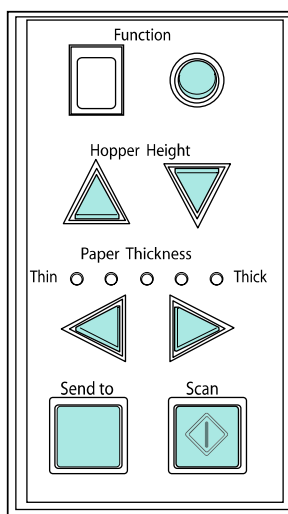
11. インプリンタカバーを閉じます。

2.2 動作確認

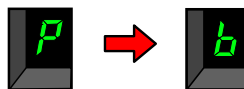
インプリンタの取り付けが終了したら、スキヤナのオフライン印字テストモードで文字の印刷が出来ることを確認してください。

1. スキヤナ操作パネル上の[Hopper Height]ボタン(△または、▽)を押しながら、電源を入れます。

[Hopper Height] ボタンは押したままにします。



2. ファンクションナンバーディスプレイが[P]から[b]に変化したら、[Hopper Height]ボタンを離します。



3. ホッパーに白紙をセットします。



A4 または、レターサイズ以上の紙をご使用ください。長さが短い場合は、途中までしか印字されないことがあります。プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。

4. [Scan]ボタンを押します。

⇒紙が搬送され、先端 5mm から印字されます。(誤差±4mm)



印字されるテストパターンには以下のものがあります。

テストパターン1(横書き):

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン2(横書き):

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

テストパターン3(横書き):

!"#\$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

テストパターン4(縦書き):

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ[¥]^_`00000000

テストパターン5(縦書き):

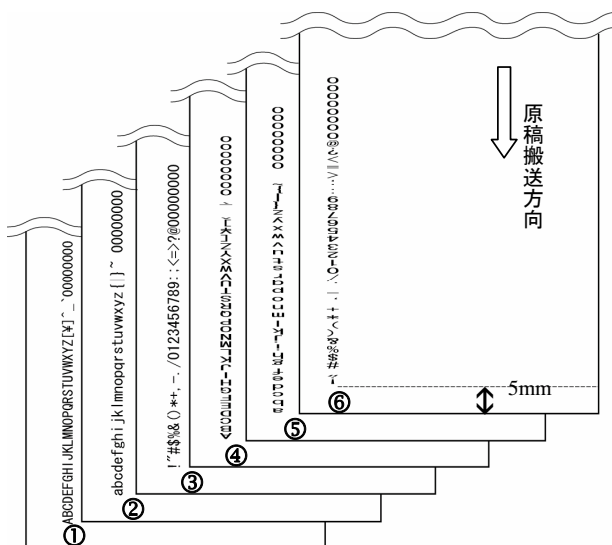
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{|}~ 00000000

テストパターン6(縦書き):

!"#\$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@00000000

紙を複数枚セットした場合、テストパターン1~6が、順番に繰り返して印刷されます。また、“00000000”の部分は、0から始まり、1刻みでカウントされます。

(1パターン印刷するごとに、動作が停止しますので、印字を継続する場合は、[Scan]ボタンを押してください。)



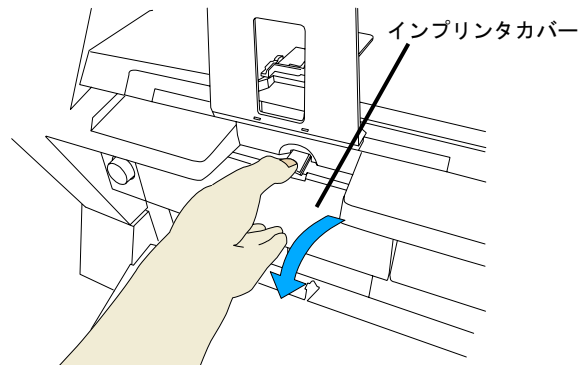
テストパターン印字サンプル

5. オフライン印字テストモードを終了する場合は、電源スイッチでスキヤナの電源を切ります。

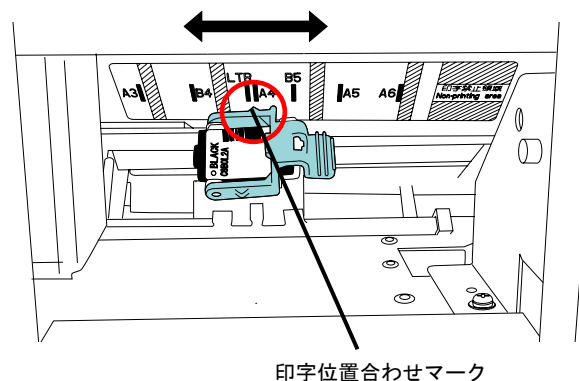
2.3 印刷位置の合わせ方

以下のように印刷位置の設定を行います。

1. インプリンタカバーを開きます。



2. 印字位置あわせマークの矢印の先端を、印刷したい位置にあわせませす。



印字位置あわせマーク

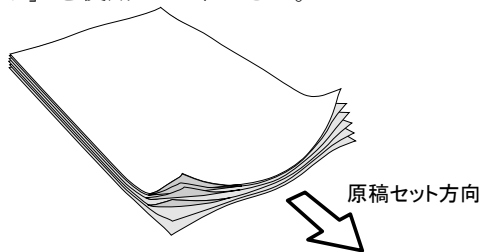


- プリントカートリッジホルダー上の「▲」マークの位置に印字ヘッドがあります。印字位置の目安にしてください。
- プリントカートリッジ上方に、原稿サイズの目盛りが刻まれています。原稿幅の目安にしてください。
- 印字禁止領域にプリントカートリッジをセットしないでください。インク汚れが発生する場合があります。
- 実際に読み取る原稿をホッパーにセットして、プリントカートリッジの位置が紙幅内にあることを確認してください。

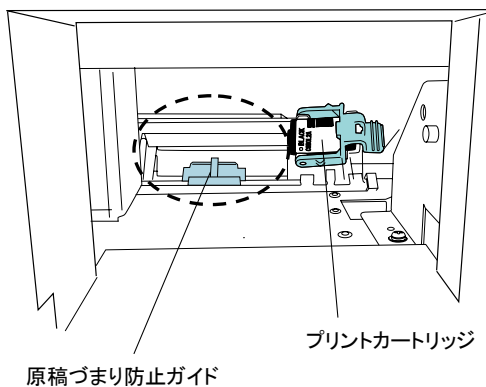
3. インプリンタカバーを閉じます。

2.4 原稿づまり防止ガイドの使い方

以下のように、先端がカールした原稿を使用する場合は、原稿づまりを防止するために、「原稿詰まり防止ガイド」を使用してください。

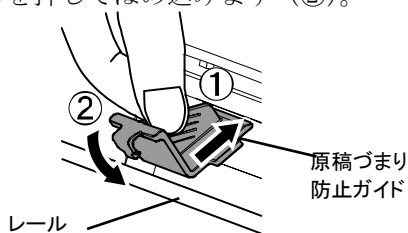


図のように、プリントカートリッジを右の方に設定して、左側に空きができたときに、原稿詰まり防止ガイドを配置します。



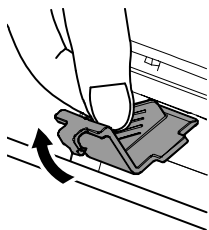
<原稿づまり防止ガイドの取り付け方>

図のように原稿づまり防止ガイドを乗せて (①)、頭の部分を押しはめ込みます (②)。



<原稿づまり防止ガイドの外し方>

以下のように、指でつまみ、頭の部分を手前に引っ張って取り外します。

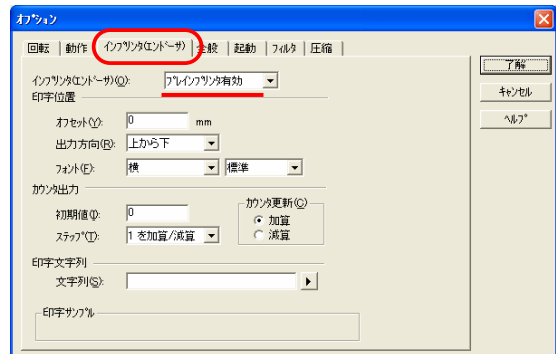


2.5 印刷設定

インプリンタの印刷設定は、スキャナドライバの設定画面上でおこないます。

FUJITSU TWAIN ドライバの場合 (例)

[オプション] ボタンをクリックして、[オプション] 画面の [インプリンタ(エンドーサ)] タブで設定します。

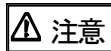


以下のような設定が可能です。

- 読み取り開始位置
- フォントの向き(縦・横) / 幅(標準・太字・細幅字)
- 印刷文字列指定(最大 40 文字)
- カウンター出力指定(桁、加算/減算、ステップ)

詳細は、「FUJITSU TWAIN 32 スキャナドライバ 取扱説明書」または、「TWAINドライバ ヘルプ」を参照してください。

2.6 プリントカートリッジの交換

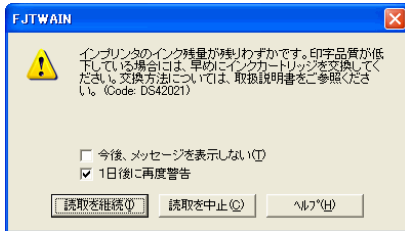


必ず電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。電源を入れたまま交換すると、感電や装置の故障の原因となります。

以下の手順でプリントカートリッジを交換します。



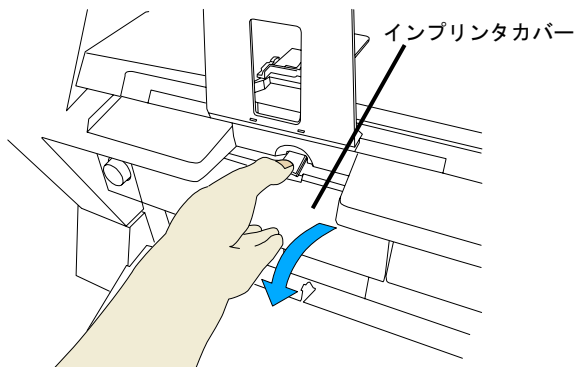
- 以下の画面が表示されたら、すみやかにプリントカートリッジを交換してください。



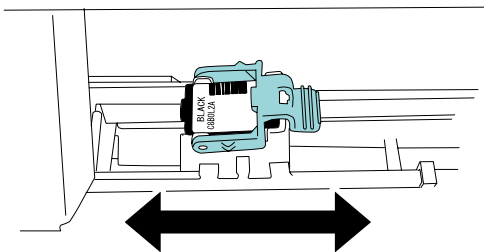
そのまま使い続けると、印字かすれが発生する場合があります。

- プリントカートリッジの交換時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

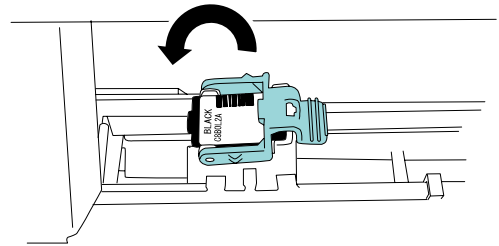
1. スキャナの電源が切れていることを確認します。
2. インプリンタカバーを開きます。



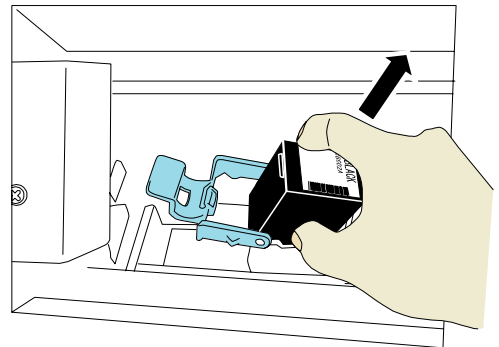
3. プリントカートリッジホルダーを、プリントカートリッジが取り出しやすい位置まで移動します。



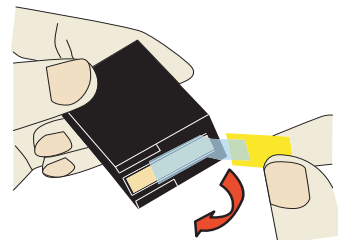
4. 水色のレバーを左方向に回転させて開きます。



5. プリントカートリッジを取り外します。

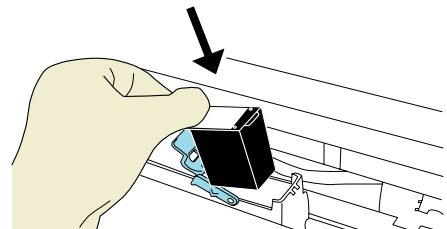


6. 新しいプリントカートリッジの保護テープをはがします。



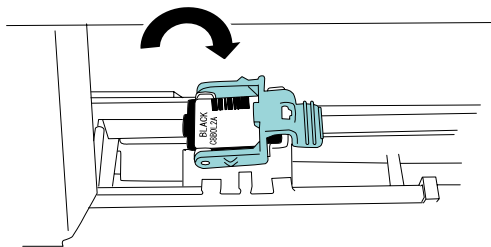
金属部分に触れたり、テープを貼り直したりしないでください。

7. 新しいプリントカートリッジを挿入します。



プリントカートリッジは、突起のある方を左側にして取り付けてください。プリントカートリッジを配線フィルムに引っ掛けて、配線フィルムを破損しないように注意してください。

8. プリントカートリッジの上にレバーを右方向に回転させて固定します。



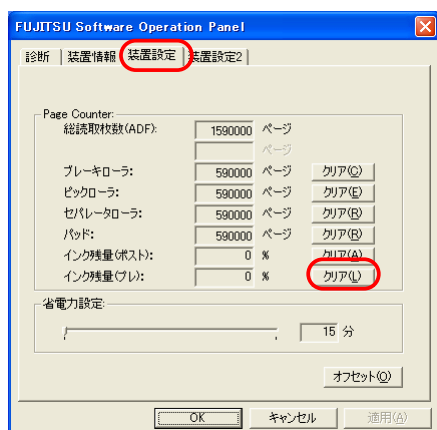
9. インプリンタカバーを閉じます。

10. 以下の方法で、インク残量カウンタをクリアします。



プリントカートリッジ交換後は、必ずインク残量カウンタをクリアしてください。

- ① [スタート]メニューから、[すべてのプログラム]-[Scanner Utility for Microsoft Windows]-[Software Operation Panel]を選択します。
- ② [装置設定]タブを選択します。



- ③ 「インク残量(プレ):」の[クリア]ボタンをクリックします。
⇒インク残量カウンタがクリア(→100%)されます。

第3章 日常のお手入れ

3.1 プリントカートリッジの清掃

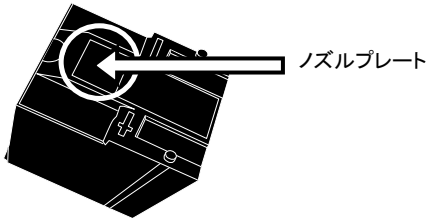
プリントカートリッジのノズルプレート面にインクなどの汚れが付着したり、しばらく使用せず放置した場合、目づまりなどにより文字が乱れる場合があります。このような状態になった場合、プリントカートリッジのノズルプレート面を清掃してください。



清掃には、埃の出にくい、乾いた布またはウェス(ティッシュペーパーは不向きです)を使用し、ノズルプレート面の汚れなどを優しく拭き取るようにしてください。

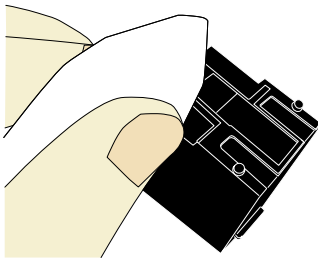
1. スキャナの電源を切ります。
2. プリントカートリッジを取り外します。

(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)



接点部分およびノズルプレートに直接手で触れないように注意してください。印字不良や接点不良の原因になります。

3. ノズルプレート面の汚れなどを優しく拭き取ります。



4. 汚れなどが拭き取られたことを確認し、プリントカートリッジを取り付けます。

(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)



プリントカートリッジの取り付け時は、プリントカートリッジの誤挿入に注意してください。

3.2 インプリンタの清掃

fi-590PRF は、読み取り前に表面の印字を行うため、インクがプリントカートリッジホルダー周辺部、および上側搬送部の読み取りガラス面や搬送路に付くことがあります。原稿や読み取り画像の汚れの原因となるため、5,000 枚を目安に清掃してください。ただし、この目安は読み取る原稿の種類によって異なります。

インクが乾きにくい原稿を使用する場合は、5,000 枚より少ない枚数での清掃が必要になることがあります。

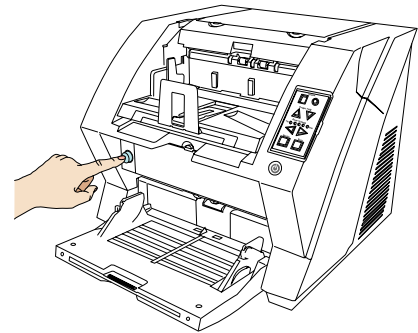


本装置を清掃する場合は必ず電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。電源を入れたまま清掃すると、感電や装置の故障の原因となります。

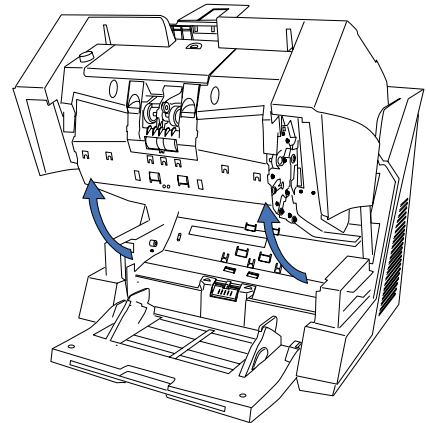


清掃には、埃の出にくい、乾いた布またはウェス(ティッシュペーパーは不向きです)を使用し、優しく拭き取るようにしてください。

1. スキャナの電源を切ります。
2. プリントカートリッジを取り外します。
(「2.6 プリントカートリッジの交換」を参照)
3. ADF カバーオープンボタンを押します。



⇒ADF カバーがゆっくりと開きます。

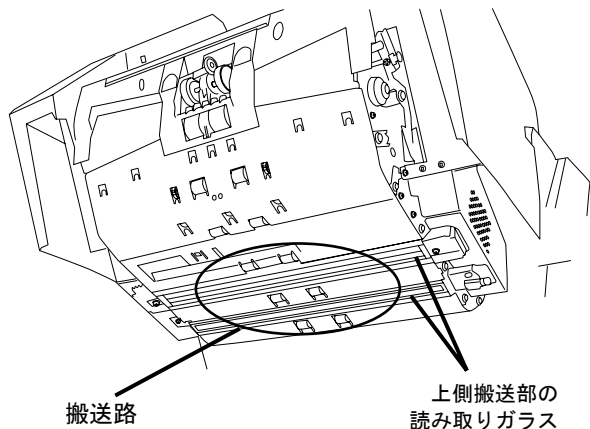


4. クリーナ F1 またはイソプロピルアルコールを浸した布で、以下の部分をやさしく拭き取ります。

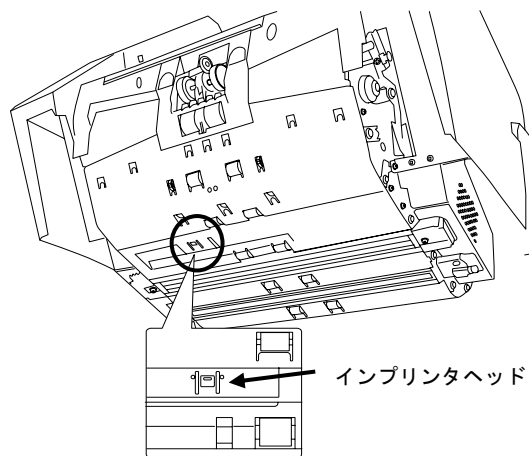


詳細は『fi-5900C イメージスキャナオペレーターガイド』を参照してください。

・上側搬送部の読み取りガラスおよび搬送路

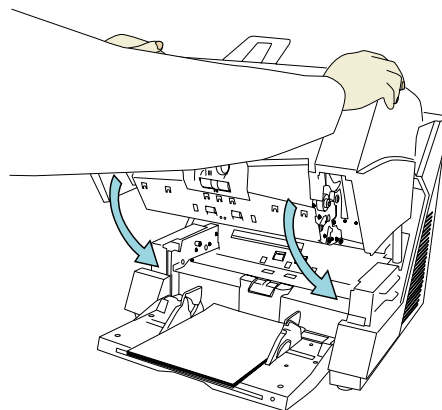


・プリントカートリッジ底面

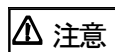


5. プリントカートリッジを取り付けます。

6. ADF カバーを両手で持ち、ゆっくりと下に押し下げます。



7. ADF カバーが固定されるまでしっかりと押し込んでください。

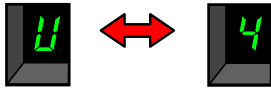


閉じるときは、異物がADF内にはさまれていないことを確認してください。

指をはさまないように注意してください。

第4章 エラーメッセージ

ファンクションナンバーディスプレイが以下のように表示される場合は、インプリンタに異常が発生しています。



内容: インプリンタまたは ADF のカバーが開いています。

対処方法: インプリンタまたは ADF のカバーを閉じてください。



内容: プリントカートリッジがセットされていません。

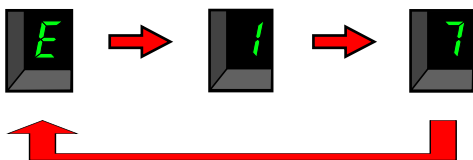
対処方法: インプリンタカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。



内容: インプリンタに異常が発生しました。

対処方法: ①インプリンタカバーを開けて、プリントカートリッジが正しく装着されているかどうか確認してください。

②一度スキヤナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。
(症状が改善されない場合は、ご購入の販売店、または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。)




内容: インプリンタのヒューズが切れました。

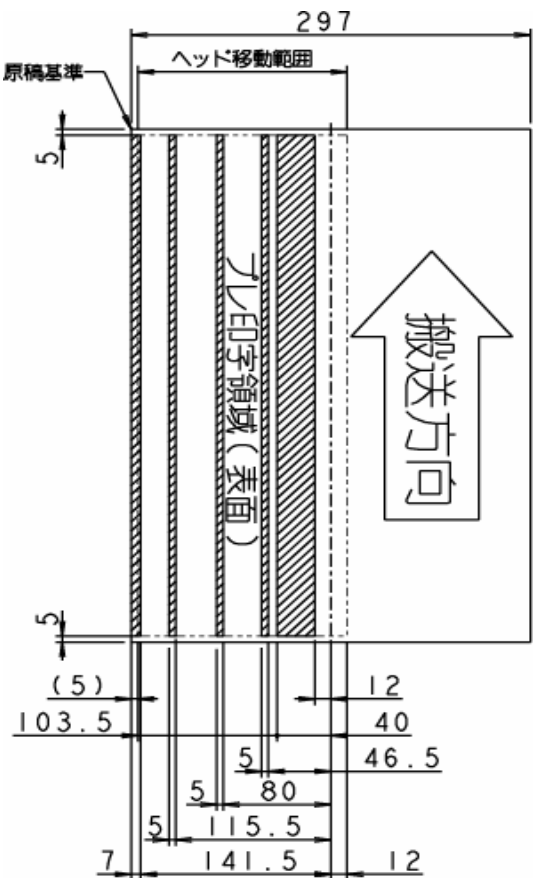
対処方法: ご購入の販売店、または PFU イメージング サービス&サポートセンターにご連絡ください。



その他のエラーについては、fi-5900C に添付されている Setup CD-ROM 内の『fi-5900C イメージスキャナ オペレーターガイド』を参照してください。

第 5 章 仕様

項 目	説 明			
印字方式	サーマル・インクジェット			
印字タイプ	ブレインプリンタ (読み取り前に印字) 表面印字			
印字文字	アルファベット : A~Z, a~z 数 字 : 0, 1~9 記 号 : !" \$ # % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ { } ~			
最大印字文字数	40 桁 (8 桁カウンタ使用時は最大 43 桁)			
印刷方向	標準 : 0° , 180° (横書き), 90° , 270° (縦書き) 細幅字 : 0° , 180° (横書き)			
文字サイズ	標準 : 縦 2.91mm×横 3.03mm (横書き), 縦 3.03mm×横 2.91mm (縦書き) 細幅字 : 縦 2.91mm×横 1.71mm (横書き)			
文字ピッチ	3.79mm (標準) 2.46mm (細幅字)			
フォントスタイル	標準、太字			
文字幅	標準、細幅字			
	文字幅	印刷方向	フォントスタイル	印字可否
	標準	横書き	標準	○
			太字	○
		縦書き	標準	○
			太字	○
	細幅字	横書き	標準	○
			太字	×
		縦書き	標準	×
			太字	×
使用可能な原稿	fi-5900C で使用可能な原稿 詳細は『fi-5900C イメージスキャナ オペレーターガイド』の「第 7 章 原稿について」を参照してください。			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>感熱紙、熱転写用紙、コート紙、アート紙など、表面に光沢のある原稿はインクの乾きが悪く、印字が不良になる場合があります。また、清掃周期も短くなります。</p> </div>			

項目	説明
印字領域	 <p>The diagram illustrates the printing area with a total width of 297 mm. A 'ヘッド移動範囲' (Head movement range) is indicated by a dashed line. The '原稿基準' (Original reference) is shown with a 5 mm offset. The '搬送方向' (Conveyance direction) is indicated by an upward arrow. The 'フリ印字領域 (表面)' (Free printing area (surface)) is shown with a hatched pattern. Dimensions for the printing area are: 103.5 mm (left margin), 5 mm (top margin), 5 mm (bottom margin), 7 mm (left margin), 5 mm (margin), 80 mm (width), 115.5 mm (width), 141.5 mm (width), 12 mm (margin), 46.5 mm (width), 40 mm (width), and 12 mm (margin).</p> <p>単位: mm</p> <p>※斜線部 印字はできませんが、インクが転写するため、保証範囲外です。</p>
印字位置精度	垂直方向：±4mm（開始位置）、水平方向：±4mm（開始位置）
動作環境	温度：15～35℃、湿度：20～80%
消耗品	プリントカートリッジ（サプライ番号: 0330610）（17 ページ「消耗品の購入先」参照） 印字可能文字数: 4,000,000 文字 （ただし、フォントの指定に依存して減少する場合があります。）

※保守サポート期間は、お客様の購入後 5 年間です。
 本装置の修理部品の最低供給期間は、製造中止後 5 年間です。

修理・問い合わせについて

当社では、お客様に安心してイメージスキャナ fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。
購入時にご加入頂く契約サービスと、必要な時にその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■契約サービス

契約サービスには、以下の2種類のサービスメニューがあります。

◆定額訪問修理サービス

機器の故障発生には、直ちにサービスマンが伺い、迅速で確実な修理作業をおこないます。
メーカー直接保守による高度な技術と迅速な保守対応をおこないます。
全国サービスネットによる迅速な保守対応をおこないます。

◆定額定期保守サービス

お客様に安心して機器を使用して頂くために、年一回サービスマンが点検作業に伺います。
機器の故障発生時は上記と同等なサービス対応をおこないます。
機器点検により品質の維持と障害を未然に防止します。

オプション装着時は、スキャナ本体価格と搭載オプション製品の合計金額となります。
消耗品はお客様の費用負担となります。

■スポットサービス

スポットサービスには、以下の2種類のサービスがあります。

◆センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を持ち込んで頂き修理をおこないます。

センドバック修理サービス	持込基本料+ 部品費 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1,*2	修理中に代替機を貸出します。 （引き取り修理サービスと併用）

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種になることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取りサービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。
ご了承下さい。

キャンセル料	持ち込み診断後、お客様のご都合により修理をキャンセルする場合などにかかります。
--------	---

■オンサイト修理サービス

機器の故障発生時にご連絡頂き、その後、サービスマンが直接修理に伺います。

オンサイト修理サービス	訪問基本料金（作業時間=1時間まで）+ 部品費+ オプション料金+ 加算料金（技術料金、その他加算料金）
-------------	--

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	株式会社 PFU イメージングサービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 (携帯電話からおかけの場合: 042-788-7746)
受付時間	月～金 / 9:00～12:00 13:30～17:00 (土・日・祝祭日・年末年始、当社休業日を除く)
ホームページ	http://imagescanner.fujitsu.com/jp/

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または
PFU イメージング サービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

■消耗品の購入先

プリントカートリッジなどの消耗品のご購入については、本装置を購入された販売代理店、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://www.coworco.fujitsu.com>

電話お問い合わせ受け付け時間: 月～金 / 9:00～17:30 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)